

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		～ 2024年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質や満足度が高い点	ライフステージを意識した支援を提供することができています。年長グループの取り組み設定では就学に向けた支援の実施ができました。	今後も継続的に実施を行います。スタッフ一同研鑽に努めてよりよい支援を目指していきます。
2	専門性のある支援が来ている点	標準の発達評価にTASPなど専門支援計画を作成して計画に基づき支援を手介介することができています。作業療法士や保育等の専門スタッフが運動機能の発達や発達段階に合わせた支援ができています。	今後も継続的に実施を行います。スタッフ一同研鑽に努めてよりよい支援を目指していきます。
3	保護者への子育ての助言や園と連携をして、より生活場面に着目した支援が来れた点	保育園等との連携を行い、園に訪問させていただくことや、園の先生がぐりーんの様子を見に来てくださることもあり、連携を密に行う事ができました。送迎時に保護者と園やお家での様子をお聞きし、必要な際はサポートを行いました。	今後も継続的に実施を行います。スタッフ一同研鑽に努めてよりよい支援を目指していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の避難先や子供の安全配慮に対する周知が足りなかった点	利用開始時に緊急時の避難先や災害伝言ダイヤル等の使用方法をお伝えしましたが、定期的にお伝えるすることが出来ておらず、周知が不足していました。	避難先の周知、災害伝言ダイヤルの活用方法、災害時緊急情報の確認を、定期的の実施をし緊急時にも迅速に対応ができる体制を作ります。
2	避難訓練の周知が足りなかった点	利用開始時に緊急時の避難先や災害伝言ダイヤル等の使用方法をお伝えしましたが、定期的にお伝えるすることが出来ておらず、周知が不足していました。	月間予定への記載等が不十分だったため、今後イベントや訓練がある際には早めの周知をいたします。
3	ペアレントプログラム、家族支援等の会の開催が限られてしまった点	今年度は年長さんの保護者に向けて保護者向け勉強会を実施いたしました。実施機関の確保が難しく年長さん以外に向けた支援の実施はできませんでした。	保護者や児童に向けて必要なサポートや勉強会の機会を検討していきます。